

管理医療機器
歯科用知覚過敏抑制材料

ハイドロキシアパタイト配合

Apashield
アパシールド

販売名：アパシールド
内容量：30g
医院価格：8,500円(税別)
医院販売単位：1本
製造販売元：株式会社サンギ
発売元：株式会社オーラルケア

医療機器製造販売認証番号 303AGBZX00005000



ハイドロキシアパタイト配合

Apashield
アパシールド

管理医療機器 歯科用知覚過敏抑制材料

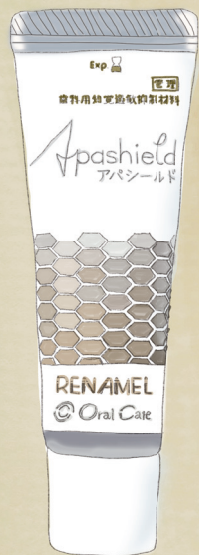
お問い合わせは……

TEL **0120-500-418**
Free Dial

株式会社オーラルケア 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-32-9 | <https://www.oralcare.co.jp/>

ハイドロキシアパタイト配合**アパシールド**とは、
歯科医院で使用する
歯科用知覚過敏抑制材料です。

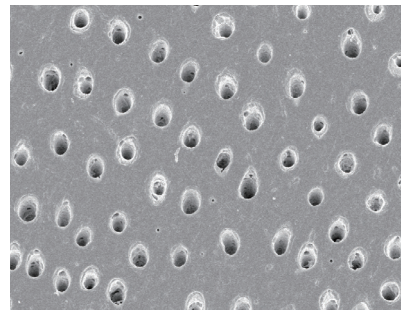
4つの特長



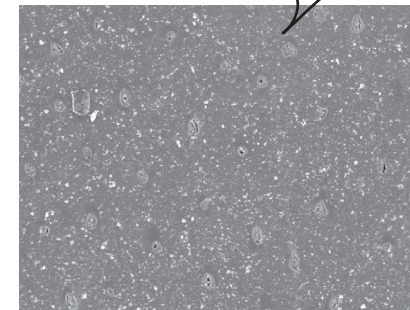
- 1 ハイドロキシアパタイトが
露出した象牙細管を直接封鎖し、
知覚過敏を抑制する
- 2 ワンペーストタイプなので、
カンタンに塗布できる
- 3 歯のエナメル質の主成分である
ハイドロキシアパタイトを配合し、
生体親和性に優れる
- 4 保険適用が可能

象牙細管封鎖性 (SEM観察像)

開孔した象牙細管を
ハイドロキシアパタイトで封鎖



象牙細管を開孔させた象牙質面



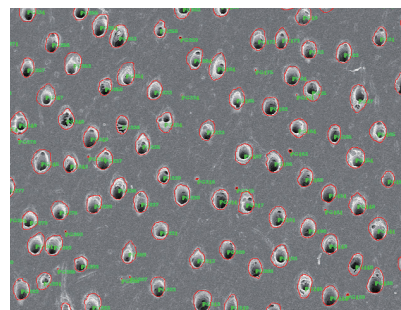
アパシールド処理面

ハイドロキシアパタイトが
象牙細管を直接封鎖。

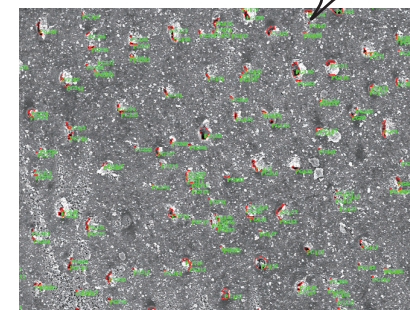
象牙細管開口切片の作成：平行象牙質切片（ヒト抜去歯）をクエン酸系処理材にて2秒間エッチング。
 製材塗布：アパシールドをラバーカップにて30秒間擦り塗り。

象牙細管封鎖率 (SEM観察像の画像解析)

象牙細管封鎖率**80%***以上



象牙細管開孔象牙質面
 (面積：338259pix)



アパシールド処理面
 (面積 17855pix)

開孔部を表わす赤丸が、
アパシールドの
処理によって減少。

※試験方法により封鎖率は異なります。
 SEM図を画像処理ソフト (Image-Pro Plus, Media Cybernetics, Inc.) に取り込み、
 象牙細管の面積と封鎖した部位の面積を算出

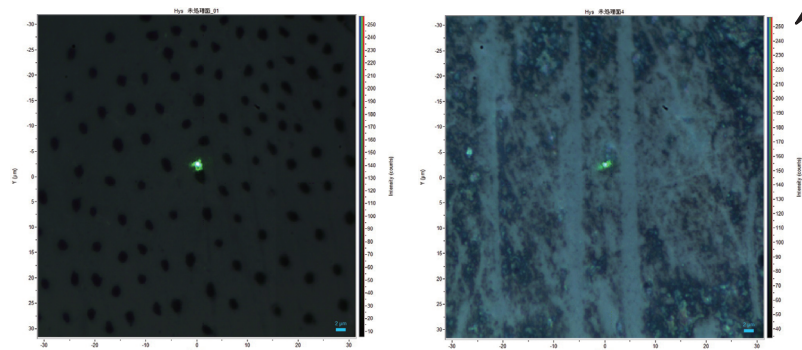
$$\text{象牙細管封鎖率 (\%)} = \frac{(\text{コントロール面の開孔面積} - \text{処理面の開孔面積})}{(\text{コントロール面の開孔面積})} \times 100$$

処理後の細管封鎖部位の物性 (ラマン分光分析法で解析)

象牙細管開孔部が

ハイドロキシアパタイトによって封鎖

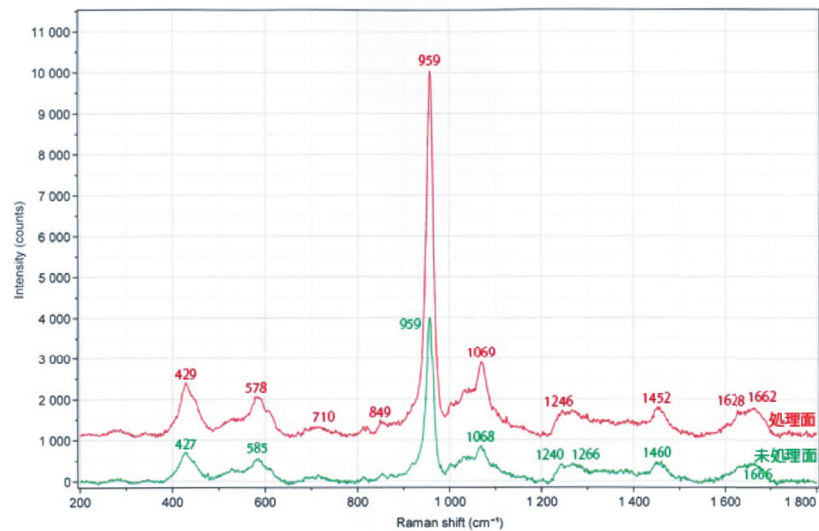
▼黒丸で示した緑の部位をレーザラマン顕微鏡で解析



象牙細管開孔象牙質面

アパシールド処理面

▼アパシールドによる象牙質の処理効果



アパシールド処理面のラマンスpekトルの強度は未処理面より強く、本品由来のハイドロキシアパタイトで封鎖されていることを確認

使い方



患部の唾液・プラークを綿球などで取り除き、過剰に付着したプラークやステインは歯面研磨材などで落とす。その後、ロールワッテなどで防湿を行なう。



トレイやダップングラスなどにペーストを取り出した後、患部を覆う程度の量をラバーカップ・綿棒等に採取する。
※ラバーカップを使用する場合はやわらかめの素材(トリートメントカップ推奨)を選択



1歯あたり30秒間押し込むようにこすり塗る。ラバーカップ使用時、コントラの回転数は1,000rpm以下にする。



水洗してペーストを除去する。



エアブロー等で処置効果を確認する。症状が消退していない場合、2~5を歯科医師の判断にて繰り返す。

使い方の動画はこちら

QR

FAQ

アバシールドについて

- Q1. においや味はありますか？**
ピーチフレーバーです。強い苦味やにおいはありません。
- Q2. どのようにして象牙細管を封鎖しますか？**
ペーストを直接患部にすり込むことで、
ハイドロキシアパタイトが露出した象牙細管を封鎖。
知覚過敏を抑制します。
- Q3. フッ化物のとの併用は可能ですか？**
可能です。フッ化物を口腔内に残留させたい場合は、
アバシールドを先に塗布してください。
- Q4. PMTC やトリートメントケアを行なう場合、
どのタイミングで使用しますか？**
PMTC などプロフェッショナルケアの後にご使用ください。
- Q5. 塗布時、歯肉に付着しても大丈夫ですか？**
問題ありません。
- Q6. 塗布後すぐに水洗したり、飲食できますか？**
塗布後、すぐに水洗できます。
飲食は、処置後30分お控えください。

知覚過敏抑制効果に関して

- Q1. アバシールド塗布後、象牙細管内の封鎖物は
すぐ取れませんか？**
500回のサーマルサイクル試験^{*1}を行なった結果、
試験後の象牙細管封鎖率は80%以上^{*2}を保っていることを確認しています。
ただし使用する歯ブラシや歯みがき剤・歯ブラシ圧などによって

歯が削れるとともに、封鎖物も取れてしまう恐れがあるため、
必要に応じてセルフケアの提案を行なってください。

※1 サーマルサイクル試験条件
冷水槽温度：5℃・温水槽温度：55℃・サイクル数：500回
浸漬時間：冷水槽、温水槽ともに20秒・移動時間（各浴槽間）：10秒
※2 試験方法により封鎖率は異なります

- Q2. レジン系知覚過敏材の上からアバシールドを塗布しても、
効果はありますか？**
効果は期待できません。レジン除去してから、
象牙質面に対してアバシールドの塗布をおすすめします。
- Q3. アバシールドは補綴物装着前の形成面に使用できますか？**
配合されているグリセリンの影響で、
接着の強さに影響を及ぼす可能性があります。
補綴物装着前の形成面に使用することはお控えください。
- Q4. ホワイトニング処置中にアバシールドは使用できますか？**
塗布できます。ホワイトニングの効果に影響を及ぼすことなく、
ホワイトニングの処置前・処置中にかかわらず塗布が可能です。
また、塗布後の変色もありません。

その他

- Q1. アパガードリナメルやトリートメントペーストとの
違いはなんですか？**
配合されているハイドロキシアパタイトが違います。
アバシールドに配合されているものは、象牙細管の封鎖を目的とした
粒子設計を行なっています。
- Q2. 知覚過敏抑制以外に再石灰化・再結晶化の
効果はありますか？**
アバシールドに配合されているハイドロキシアパタイトは、
象牙細管封鎖に特化したものです。
再石灰化・再結晶化効果の知見は現在のところありません。
再石灰化・再結晶化を促進したい場合は、トリートメントペーストを
ご活用ください。